

今 利 一

(市民連合)

整備は地域要望をふまえて



農村地帯の市道調査

望のある38箇所については、現地調査を行い、出来るものについては整備を行った。今後の整備計画については、振興会・連絡協議会等の地域要望を考慮し行う。また、自転車用道路整備については難しい。

見解の相違

問 総合こども園設置について、6月18日以降の具体的な進捗状況を父母の会に対して説明を行うべきと考えるが、市長の考え方を伺う。

答 広報を通じて市民周知を行っている。また、31箇所にわたり地域懇談会、意見交換会を実施してきた。課題については、行政報告にあるとおりで集約されている。

問 総合こども園設置については、賛成、反対が二分している中で市民に理解を求める必要があると考えるが。

答 地域懇談会に参加してくる市民は、興味の持った人しか来ない。一部の人の意見を聴いただけでは、判断する訳にはいかない。今議員と私の受け止め方の差があると判断している。

総務文教委員会

■地域新エネルギーについて

本委員会では、私たちの生活に必要なエネルギーを、今後、私たちがどのように選択し、作り、確保していくかをテーマに議論を進めています。

後世にわたり安定的にエネルギーを確保し、持続可能な循環型社会を実現するためには、省エネ、節電の取り組みと同時に、太陽光や太陽熱、風力、水力、雪氷熱などといった、枯渇する心配のない再生可能エネルギーを導入していく必要があると認識しています。

委員会の動き

また、より身近で安全な電力・熱の利用が実現できるよう、再生可能エネルギーの供給体制を構築し、家庭や事業所に普及させていくことも重要であると考えています。私たちの生活に必要なエネルギーを地域の自然の中から作りだすことにより、エネルギーを大切に使う習慣を身につけ、省エネや節電に関心を持って取り組むことにもつながる

と考えています。

さらに、森林資源や農業廃棄物などを利用するバイオマスエネルギーは、地域にある資源が十分活用できるとともに、地場産業の振興と発展に結びつく可能性をも秘めています。

このような地域新エネルギーの利用が市民生活に浸透すると同時に、導入時のみの一時的な経済効果に終わることなく、継続して地域産業の活性化に繋がっていくためには、どのような方策がより本市の現状に適しているか、市内施設の視察に基づき検討課題の整理を行うとともに、他市の事例も参考にいたしたく継続調査を求め中間報告といたします。



麓郷白鳥川の小水力発電